

## 令和3年度第2回経営会議概要

- 1 開催日時：令和3年7月19日（月） 9:00～9:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 令和4年度重点取組について

#### ●西田課長【企画課】（資料1に基づき説明）

【1. 目的】については、昨年度と同様に、特定政策課題の解決などに行政経営資源の重点配分を行うことなどを目的としている。

【2. 基本的な考え方】については、（1）～（6）は、昨年度と同様である。（7）は、今年度から追加しており、新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策や、応急的な事業者支援などは、緊急性・必要性が高いことから、その都度実施することとし、重点取組の対象から除くこととする。

【3. テーマ設定】については、「（1）新型コロナを踏まえた地方創生の取組」、「（2）地域共生社会の実現に向けた対応」、「（3）その他社会経済情勢の変化への対応」の3項目とする。

1つ目の「新型コロナを踏まえた地方創生の取組」については、新型コロナを踏まえた地方創生として、DXの活用による地域課題の解決や脱炭素社会の実現に向けた取組、若者の県内定着や人材育成等の取組など、「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」の視点を取り入れたものとしている。なお、この3つの視点は先月閣議決定された国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」にも盛り込まれている。

2つ目の「地域共生社会の実現に向けた対応」については、生きづらさを抱える方が増えている中で、一人ひとりの個性や能力が最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現に向けて、真に必要な取組を対象としている。孤独・孤立対策に直接関係する部局だけでなく、取組例で示すように、さまざまな可能性を検討していただきたい。

3つ目では、「その他社会経済情勢の変化への対応」として、（1）（2）以外で、新型コロナに係るワクチンの接種状況や東京2020オリパラ、三重とこわか国体・大会等、これから社会状況に大きな変化を及ぼすことが想定されることから、こうした変化への対応や、県民の皆さんの命や暮らしに大きな影響を及ぼすものなどを対象としている。取組例にあるように、三重とこわか国体・大会開催後のスポーツ振興や、リニア中央新幹線の開通なども本県に大きな影響が考えられるので、これらを見据えた対応などが対象になる。

【4. 提案方法】～【6. 選定後の予算編成過程での取扱い】については、昨年度と同様である。

【7. 今後のスケジュール】については、現在、新型コロナの関係において、円滑なワクチン接種を最優先に取り組んでいるところであり、加えて、三重とこわか国体・大会が目前に控えて準備がピークという状況にある。また、今後もワクチン接種の進展や、東京2020オリパラ、三重

とこわか国体・大会の開催などによって、社会状況が大きく変化することが想定され、来年度の取組を検討するには、こうした影響を見極める必要があるため、重点取組の提出は例年に比べて遅らせることとしている。今後のスケジュール等は、県内のワクチン接種の状況を踏まえて改めて示すこととし、各部局においては、今後の社会状況の変化を幅広く想定しながら、具体的な作業を示した際にはスムーズに検討できるよう準備していただきたい。

☆鈴木知事

このようなスケジュールで議論するので、しっかり準備すること。コロナを踏まえたということについては、ポストコロナでは経済や産業のことなど、やや前向きな議論のことがイメージされがちだが、コロナで孤独・孤立や、分断、軋轢が生じたり、生活困窮者の増加や、弱い人にしわ寄せが及ぶなどセーフティネットのあり方も、コロナ前後で異なってくる。このため、ポストコロナのセーフティネットのあり方など、医療、福祉、人権など関係部局でよく議論してもらった方がよい。デジタルやグリーンが目立つのも良いが、孤独や孤立もしっかり議論してもらいたい。

以上